大仙市立中仙小学校学校報　令和５年度　NO.１１　令和５年６月１３日

夢に向かって　笑顔いっぱい　みんなでチャレンジ

輝く ひとみ

“楽らく 笑SHOW”な学校　なか１０００笑楽校

楽天は、おいしいものばかり！

ひさしぶりの　平泉・仙台への修学旅行！

４年ぶりの県外への修学旅行でした。改めてコロナ禍後の生活が戻ってきていることを実感しました。

「思いやりとやさしい心の学級」「マナーとけじめのある行動」そよかぜ学年がこれまで培ってきた“よさ”が存分に発揮された、まさに『“楽笑”な修学旅行』に１００点満点です。

今回は、人生初の修学旅行引率となった両先生と、１０度目で最後の修学旅行となる校長が引率させてもらいました。雨ニモマケズ、１日で１万５０００歩の移動にもマケズ（？）、楽しませてもらいました。

１日目・・・世界遺産平泉、うみの杜水族館、震災遺構の荒浜小学校、楽天スタジアム、ホテル

平泉は、とにかく修学旅行のピーク！長蛇の列の中、しっかりと金色堂を見学しました。

ここで、「まじめなそよかぜ」のみんなは、たくさんのメモをがんばっていました。

ここ大曲仙北の、後三年の役とも深くつながる歴史に触れて、これからの歴史の学習にも興味が増したことと思います。

今、小学生は、東日本大震災を体験しない子どもだけになりました。そこで、仙台市にある荒浜小学校と、その地域を見学しました。２階まで津波が押し寄せたのに、全員が無事だったこと、家の土台は今もそのまま残っていることなどを見ることができました。

当時の先生や子どもの証言に、自然と涙する子どももいました。

お昼は、海の杜水族館で昼食。自分の予算とにらめっこしながら、好きなものを選んで食べました。がっつり食べる人、サイドメニューで終了の人、いろんな味がありました。

イルカとアシカのショーでは、水かぶりの前列には誰も行かずに、「謙虚なそよかぜ」さんでした。よくある巨大ぬいぐるみくじにも誰も挑戦せず、「ホジのあるそよかぜ」も大したものでした。

夜は、現金が使われない楽天モバイルパークへ。初めは、野球よりも食べることが優先でしてたが、接戦になるとテンションもマックスに。タオルふりふりのパフォーマンスもノリノリでした。

中仙小学校の熱い応援のおかげで、いったんは逆転されましたが、9回裏に再逆転ホームランで楽天が勝ちました。

その後、地下鉄でホテルへ。自動販売機はないけれど、さまざまな造形物がある高級なホテルで、静かにぐっすりと眠りました。とっても立派でした！

雨の２日目・・・班別自由行動（七十七銀行金融博物館、東北大学総合学術博物館、八木山動物公園など）、ベニーランド

２日目は、ドキドキ班別自由行動。しかも、結構土砂降り・・・。大きな仙台駅の中で地下鉄乗り場に着くまで一苦労しながらも、それぞれの計画に沿いながらゴールのベニーランドに到着できました。

ベニーランドでは、誰１人、荷物置き場に休憩しに来ることもなく走り続け、バスの中では豪快に眠りました。